



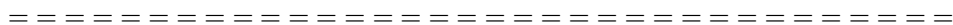
地域日本語支援ニュース こだま 第 370 号

2019.11.14



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。



■ともに生きる：鳥取県境港市から■

境港市は、港湾、漁業の町としての長い歴史を持ち、あの『ゲゲゲの鬼太郎』でも広く知られる鳥取県西部に位置する港町です。近年増え続けてきた技能実習生の日本語と日本の生活について、どう取り組んでいるかを、市のご担当の本角さんに書いていただきました。
.....

境港市における外国人の現状と取り組み

境港市産業部水産商工課経済交流係 係長
本角（もとずみ）有希子

【境港市のこれまで】

境港市は面積約 29 平方キロメートル、人口約 3 万 4 千人の小さな市です。外国人の人口は約 1.44%の約 500 人、そのうち約 300 人が技能実習生で、人材不足に伴い基幹産業である水産業を中心に多くの企業で外国人技能実習生を受け入れています。ここ 10 年で技能実習生の数は約 2 倍となり、その主な出身地は中国からベトナムへと変わりました。漁業においてはインドネシアからの技能実習生も 50 人ほどいます。

しかし、彼らの母国語でコミュニケーションをとることのできる人材がほとんどおらず、市内に日本語を学習する場もなく、外国人住民にとって十分な環境が整っているとは言えない状況でした。

【境港市の取り組み】

境港市では、業界からの希望もあり、日本の文化と接する機会の少ない技能実習生向けにまず交流会を実施することから始め、その後日本語教室の立ち上げに着手することになりました。

◆技能実習生と市民との交流会

平成 30 年 3 月以降、水産業の技能実習生を対象に 3 回実施し、今年度からは全業種の技能実習生を対象に、年 2 回実施することになっています。

交流会は、技能実習生が日本の文化や日本人住民と接する場を設けることで、相互理解の機会が生まれます。市民や市民活動団体の協力と参加の下、着物や浴衣の着付け、雛飾りや七夕飾り、獅子舞、折紙、茶道、書道、ちぎり絵、鬼太郎音頭、料理教室などの体験を行っています。また、楽しい経験の発信が、SNS 等を通して、国の家族を安心させるとともに、新たな人材が本市を選択するきっかけとなることも期待しています。

◆日本語教室の立ち上げ

技能実習生は、生活や仕事をするための最低限の日本語を受入企業等で学習することになっていますが、それだけでは充分ではないという声がありました。

日本語教室の立ち上げについて情報を集める中で、文化庁の「地域日本語教育スタートアッププログラム」を知り、応募しました。平成 30 年度より、国から派遣されるアドバイザーの助言の下、日本語教室の立ち上げに取り組んでいます。

経験のない中で事業を実施するのにあたって、まず一緒に日本語教室について考えてもらうコーディネーターが必要でした。日本語教育関係者だけではなく、技能実習生たちの仕事や生活の状況がわかる受入企業関係者にも参加してもらいたいと考え声をかけた結果、幸いにも企業での日本語学習会に携わっていた企業の方 1 人と、企業等での技能実習生への日本語指導に関わった経験がある元教員 2 人にコーディネーターを引き受けていただくことができました。日本語指導経験者を探す際、有資格者には拘りませんでした。

◆教室をスタート

立ち上げに先立ち、日本語指導者やボランティアの日本語教育の技術取得や向上も必要でしたが、まずはやってみないと分からないとの意見もありました。そこで、授業前にボランティアミニ講座を開いたうえで、ボランティアの実践も兼ねた「さかいみなと日本語クラス」を試行することになりました。

ボランティア募集にあたっては、まず交流会での交流を呼びかけ、外国人と話をするハードルを下げたうえで、日本語クラスへのボランティア参加を呼びかけました。その結果、年齢層も様々な人たち 30 名超の応募がありました。

◆教室の状況とこれから

そのほとんどが未経験者だったことから、ボランティア 2 人以上、外国人 4 ～6 人程度でグループ分けし、コーディネーターの進行の下、テーマについて会話する形で授業を進めています。ボランティアは今まで外国人や国際交流等に関わったことがなかった人たちがほとんどですが、それでも和気あいあいと、それぞれの形で会話を楽しんでいます。

2～4 月、6～8 月それぞれ全 5 回で開催した日本語クラスには、予想を超える 80 人前後の申し込みがあったものの、出席率は 50%程度から 20～30%程度まで低下しています。

今後も参加する外国人・ボランティアの状況を把握し、無理なく、楽しく参加できる日本語クラスになるよう試行錯誤を繰り返し、改善していくとともに、これからさらに増えることも想定される外国人住民のみなさんに「境港市に来て良かった」「境港市に住みたい」と思ってもらえるよう取り組んでいきたいと思っています。

★境港市ホームページ★

<https://www.city.sakaiminato.lg.jp/>
